



**満100歳!!**  
**まだまだお元気です!!**



# 寿光園の屋根の下

**第125号**  
 平成25年 7月  
 発行元  
 高清水寿光園

## それは今でしよ

施設長 今 泉 博 雄

人手産業の最たる福祉分野で、改革の必要性が叫ばれて久しい。

想定された以上に進行し深刻化する高齢化と少子化の実態により、超少子高齢化社会が到来している。連発される新方針・新施策に振り回され、一喜一憂しながらも事業の安定的継続を模索しなければならぬ福祉法人。福祉は人なりと言われ、どここの事業所でも個人でもそれぞれの立場で考えること、推察すること、想像する過程が重要となっている。それぞれの現場で個人がチームが求められている。事柄にどんな姿勢で臨むのか。得られた知識や技術に経験のすべてを動員し、集中させることが出来るかにかかっている。人手は、単に人の手、職員の手数に止まらず、常に職人(ニプロ・専門職)としての存在と役割が不可欠となった介護支援業務にとって、知識・技術・経験は最大の道具(武器)であり、その集積は

事業所の力量でもある。頭のとっぺんから足の爪先まで全神経と精神を目の前のご利用者に向けて、そのかわりから得られることのすべてを漏らさず受け止めることに集中が必要である。特に介護職員の確保と定着を目指し、他職種との格差是正のために導入された処遇改善交付金(支給金)は、昨年度の報酬改定により利用者の一部負担を伴う加算として包含された。しかし、条件とされたキャリアパスの明示によって、法人内にも新たな挑戦が始まっている。職員の職務遂行力を時の経過に任せることなく、意図的に変化や成長を目指す育成と評価・処遇の機能を求め始めたことである。これまでの単なる持続策から拡充への積極的な転換が図られようとしている。予測不可能な福祉改革の大波・荒波に立ち向かえる体づくりが必要なのは正に「それは今でしよ。」である。



# 新任職員 紹介・挨拶



介護員 佐藤 厚子

二月よりパート介護員として勤務させて頂いております。介護職は初めてでまだ一人前にはなれていませんが、ご利用者様に不安を与えてしまわぬよう頑張っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



介護員主任 佐藤 恵子

雄高園から転勤してきました。佐藤恵子です。福祉の仕事に携わって数十年になります。特養での勤務は初めてで、不安と戸惑いがありますが、皆さんの笑顔に支えられながら頑張りますので、宜しくお願いいたします。



介護員副主任 徳田千夏子

雄和にある身体障害者支援施設・雄高園から来ました。1棟におります徳田千夏子です。みなさんと仲良く、元気に生活できまようように努めて参りたいと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。

介護員 瀬田川礼奈

雄和にある介護施設より転勤して参りました、瀬田川礼奈と申します。一日でも早く利用者様の顔と名前を覚え、笑顔で支援させて頂きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



介護員 備後 佳子

4月から高清水寿光園に赴任してきました備後佳子です。明るい性格です。たくさんの人達とふれあい、安心して生活出来る様に支援していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



介護員 小沼 要子

二月から介護員として勤務しております小沼要子と申します。安全な介護を常に提供するために、勉強の毎日です。皆様のお役に立てますよう全力でがんばりますのでよろしくお願い致します。



看護員 齋藤 伸子

施設で働き始めてまだ解からないことが多く勉強させてもらっています。利用者の皆様が元気で生活できるように、これからもお手伝いさせていただきます。よろしくお願い致します。

栄養士 高橋久美子



管理栄養士として勤務させて頂いている高橋久美子です。まだまだ不慣れではありますが、今まで経験してきた知識を活かし、利用者様の栄養面をサポートできるよう努力していきますのでよろしくお願い致します。



調理員 泉 春美

調理員の泉 春美です。4月から皆さんに優しく教えて頂きながら頑張っています。一日も早く覚えて、入所している皆様に「美味しいご飯」と思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

# お知らせ

- 寿光園年間行事予定
  - 夏まつり (7月)
  - 盆供養 (8月)
  - 敬老会 (9月)
  - 年末お楽しみ会 (12月)
- 寿光園喫茶・誕生会 (毎月第3水曜日)
- 職員勉強会
- 認知症プロジェクト
  - 年間を通して個々のケースを題材に、認知症への理解を深める取り組みを行っています。
- メンタルヘルス講習会
  - 今年度は、精神科医の先生をお招きし、心の健康をテーマに8月の第一週に勉強会を行う予定となっております。



# 編集後記

暑さ寒さも彼岸まで。とは、いかなかった今春。寒暖の差がありすぎ、体調管理に気をもむ日々でした。

気をもむといえば、サッカー日本代表。ハラハラしながらも何とかWカップ出場を決めてくれました。アベノミクスよりも経済効果があったのでは？と感じた瞬間でもありました。

さて我々はどうと、社会保障費抑制や一般企業の福祉業界参入により、アベノミクスとは無縁の世界です。しかし、世の中がどうであれ、我々が行うべきサービスは変わりません。今まで以上に良いサービスを目指し、これからもご利用者様に寄り添ったサービスを行っていききたいと思います。

(平成25年度 広報担当一同)